

第2次高槻市男女共同参画計画 令和5年度 進捗状況について（報告）

令和5年3月に策定した「第2次高槻市男女共同参画計画」に基づき、各所属が実施している男女共同参画の推進に係る取組の令和5年度進捗状況を報告

● 計画の概要

策定時期	令和5年3月
計画期間	令和5年度から令和14年度
基本理念	男女が社会の対等な構成員として、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、職場・家庭・地域社会等のあらゆる分野において、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現
基本目標	<ul style="list-style-type: none">I あらゆる分野における女性の活躍推進II 安全・安心な暮らしの確保III 男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備
取組数	53
取組内容数	86（再掲分含む）

令和5年度 事業実績（主な取組）

<取組実績>

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

●取組1 審議会等委員への女性の参画

- 1 審議会等の設置数 57
女性委員のいない審議会等の数 4
女性委員率 29.2%

●取組2 女性職員・教員の登用

- | | | |
|---|----------------------|----------------------|
| 2 | (職員) ※主査級昇任試験 | (教員：小中学校) ※管理職選考〈教頭〉 |
| | ・対象者 785人 (内女性 400人) | ・対象者 895人 (内女性 505人) |
| | ・受験者 101人 (内女性 16人) | ・受験者 15人 (内女性 2人) |
| | ・合格者 18人 (内女性 7人) | ・合格者 7人 (内女性 2人) |

●取組12 多様な働き方への支援

- 19
- | | |
|-----------------------|--------------------|
| ・高槻商工会議所と共同で各種セミナーを実施 | 創業スタートアップセミナーなど4講座 |
| ・男女共同参画センターで女性限定講座を実施 | おうち起業セミナーなど3講座 |

基本目標Ⅱ 安全・安心な暮らしの確保

●取組20 性犯罪・性暴力の防止

39

- ・教職員による児童・生徒に対するセクハラ防止マニュアルを更新
- ・教職員への研修の実施
- ・小・中学校の児童・生徒に向けて相談体制を周知

●取組24 関係課と連携した総合的な支援

43

- ・DV対応連絡会議 1回
- ・婦人相談員による相談の実施
DV相談件数 延べ274件（実人数 209人）
女性一般相談件数 226件
- ・女性弁護士による法律相談 55件

●取組27 ひとり親家庭への支援

46

- 養育費の履行確保等支援事業 支給件数 9件
母子家庭の母又は父子家庭の父の養育費の継続した履行確保を図るために、
養育費に関する公正証書等の作成に必要な費用の一部を支給した。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備

●取組42 啓発活動

70

- ・コミュニティセンター、公民館（各1か所）で地域講演会を実施
- ・CATV広報番組 「アンコンシャス・バイアス」をテーマに特集を放映
- ・図書館全館で「国際女性デー」をテーマに特集展示、関連図書の出借
- ・男女共同参画センターにて講座を実施
全15講座、合計25回、受講者数延べ462人

●取組49 男性の家事・育児・介護等への参画促進に向けた講座等

82

- 安心して妊娠生活、育児生活が送れるよう、未来の父親・母親を対象に実施。
- ・パパママデビュー教室 全3コース、合計30回、参加者数延べ652人

●取組53 男女共同参画センターの利用拡大

86

- ・男女共同参画センター設備の充実（キッズコーナーのリニューアル、照明の改修）
- ・図書・DVDの情報発信に努めた。

施策の指標

<施策の指標>

●基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

評価指標	策定時 (令和3年度) 割合等	令和5年度 割合等	目標値 令和14年度	備考
審議会等委員の女性委員の割合	29.5%	29.2%	40%以上 60%以下	
女性委員のいない審議会等の割合	8.8%	7.0%	0%	
女性人材リスト登録者	8名	9名	20名	
高槻市職員の管理職（主査級以上）の女性の割合	19.1%	19.7%	30%	特定事業主 行動計画の目標値

●基本目標Ⅱ 安全・安心な暮らしの確保

【参 考】

評価指標の割合等は市民意識調査（令和3年度）による数値。
 次回調査は、計画の中間見直し年（令和8年度）に実施する予定

評価指標	策定時 (令和3年度) 割合等	目標値 令和14年度	備考
配偶者等から身体的・精神的暴力を受けた経験のある人の割合	(※) 全体 25.6% 女性 29.4% 男性 19.4%	減少	
配偶者等から暴力を受けたことがあるが、どこにも相談したことがない人の割合	(※) 全体 57.3% 女性 50.3% 男性 74.6%	減少	
DVを受けた時の相談先が市役所にあることを知っている人の割合	(※) 全体 23.8% 女性 20.6% 男性 28.3%	50%	
「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）」の認知度	(※) 17.9%	25%	

●基本目標Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備

【参 考】

評価指標の割合等は市民意識調査（令和3年度）による数値。
次回調査は、計画の中間見直し年（令和8年度）に実施予定

評価指標	策定時 (令和3年度) 割合等	目標値 令和14年度	備考
「男女共同参画社会」という言葉の認知度	(※) 全体 50.2% 女性 47.8% 男性 54.3%	80%	
性別による固定的な役割分担意識に同意する人の割合（「夫は仕事」「妻は家庭」賛同割合）	(※) 全体 24.6% 女性 22.7% 男性 27.3%	①全体数値 15.7%以下 ②男女差縮小	
社会全体からみた男女の地位が「平等である」と思う人の割合	(※) 女性 7.0% 男性 15.8%	①20%以上 ②男女差縮小	
男女共同参画センターを利用したことがある人の割合	(※) 全体 0.7% 女性 0.8% 男性 0.5%	3.0% 3.0% 3.0%	